



高速船を活用した観光サイクリングツアー

11月3日、5日、17日、鹿屋港を発着場として「『観光』×『サイクリング』モニターツアー」が実施されました。これは、海外クルーズ船再開に向けて外国人を対象としたツアーで、かのやばら園や吾平山上陵などを自転車で巡りました。



初のブックイベント 多くの人でにぎわう

11月3日、市文化会館などで「文化ゾーンまるごとブックフェスタ」が開催されました。当日はブックリサイクルや絵本作家の眞珠まりこ先生による講演を実施。子どもたちと踊った「もったいないばあさん音頭」は会場を和ませました。



南極観測隊を食で支える

11月1日、市内で飲食店を営む中川潤なかがわじゅんさんが、南極観測隊の料理人に選出されたことに伴い、市役所を訪れました。中川さんは12月下旬から昭和基地に入り、令和6年3月まで南極に滞在し、隊員28人分の日々の食事を振る舞います。



レクリエーションで子どもたちが交流

11月5日、市体育館で「鹿屋市子ども会レクリエーション大会」が開催されました。これは子ども会への加入促進等を目的に実施したもので、参加した小学生約40人はスポーツ枕投げなどを通じ、楽しく交流を深めました。



家族の絆を訴え拉致問題への関心を高める

11月4日に鹿屋女子高校、8日に細山田中学校で、北朝鮮による拉致被害者家族の講演会が行われました。市川健一いちかわけんいちさん・龍子りゅうこさん夫妻は、家族や友人、周囲の人を改めて大事にしてほしいと語り、生徒たちは真剣に聴き入っていました。



閉校した中学校で文化祭を開催

11月3日、高須中学校跡地で「みんなの文化祭」が開催されました。現在、同校をスケボー施設として管理しているパーク高須中が主催したもので、射的やハンドメイド雑貨の販売、お化け屋敷でのホラー体験などが催されました。



地域の困りごとを地域住民で解決

11月14日、たかくま石蔵館(上高隈町)で高隈地区コミュニティ協議会の「あったかくマン」事業開始式が行われました。これは、高齢化が進む地域住民の困りごとに対応するための有償ボランティアで、同日から運用を開始しています。



ヤシの木せん定のボランティア

11月11日、市役所北側駐車場で株式会社九電工によるヤシの木のせん定・伐採作業が実施されました。これは毎年行われているボランティア作業で、同社は今年10月に市内企業と協力し浜田海水浴場の清掃作業も行いました。



イングリッシュキャンプ 生きた英語を体験

11月5日、東地区学習センターで「第5回グローバル・イングリッシュ・デイキャンプ」が行われました。札元1丁目東子ども会と市内在住外国人が、カンパチ茶漬けの調理や英語での読み聞かせなどを通して交流を行いました。